

2014 年度 応用統計学会 理事会 議事要録

2014 年度理事懇談会（対面による）

日時：2014 年 5 月 22 日 17:30～18:00

場所：統計数理研究所（東京都立川市）

出席者：樋口会長，水田副会長，酒折，中西，本橋，

井元，佐藤，川崎 各理事

欠席者：中村，大西，福水，藤澤，鈴木，安宅，永田 各理事

※ 本会は理事会開催の要件を満足しなかったため，理事懇談会となった。

議題：

1. 樋口会長の挨拶と各理事の紹介
2. 統計関連学会連合大会について
応用統計学会から 2 名のプログラム委員を出すことになっており，例年，企画理事が担当していることを確認した。
3. 学会賞について
今回の年会在 3 月に開催されるため，年会までに学会賞を選出することが難しくなった。どのタイミングで学会賞を発表するかは編集理事が検討することとなった。
4. 相互連携に関する合意書について
学会にとって広報活動は重要であるため，第 1 条 3 項を削除して合意するのが良いのではないかという意見が出された。
5. 理事の任期について
年会在 3 月に開催されることとなったため，年会を節目に理事の交代をすることが難しくなった。理事の交代時期として，5 月に総会のみを開催，または，統計関連学会が開催される 9 月にするなどの意見が出された。

2014 年度第 2 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 6 月 3 日～6 月 5 日

議題：

審議事項：

1. 品質工学会大会パネル展示における依頼
品質工学会大会（6/26-27 開催）にて田口玄一先

生の追悼メモリアル企画の一環として，応用統計学に掲載された記事『父、田口玄一』（田口伸著）のパネル展示の許可申請があり，これを承認した。

2014 年度第 3 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 6 月 10 日～6 月 16 日

議題：

審議事項：

1. 入会の承認
1 名の入会の承認をした。

2014 年度第 4 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 6 月 26 日～6 月 30 日

議題：

審議事項：

1. 大内賞候補者の本学会からの推薦
本学会からの大内賞候補者として，馬場康維氏（統計数理研究所名誉教授）を推薦することとした。

2014 年度第 5 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 6 月 30 日～7 月 1 日

議題：

審議事項：

1. 「第 2 回 データビジネス創造コンテスト
デジタル・ネイティブ世代による自治体政策の
変革～Digital Innovators Grand Prix (Dig
powered by Accenture)」への後援の承認
標記イベントの後援の承認をした。

2014 年度第 6 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 7 月 3 日～7 月 7 日

議題：

審議事項：

1. 「応用統計学」編集委員の承認
応用統計学の 2014-2015 年度の編集委員として
以下の 15 名を承認した（敬称略）。
青木 敏（鹿児島大学）

岡田 謙介 (専修大学)
黒木 学 (統計数理研究所)
佐藤 忠彦 (筑波大学)
椎名 洋 (信州大学)
田中 研太郎 (成蹊大学)
中西 寛子 (成蹊大学名誉教授)
永田 靖 (早稲田大学)
二宮 嘉之 (九州大学)
野間 久史 (統計数理研究所)
濱崎 俊光 (大阪大学)
廣瀬 英雄 (九州工業大学)
笛田 薫 (岡山大学)
松浦 峻 (慶應義塾大学)
丸山 祐造 (東京大学)

2014 年度第 7 回理事会 (メールによる)

期間：2014 年 7 月 26 日～7 月 29 日

議題

審議事項

1. 会員の入会の承認
2 名の入会を承認した。
2. TRIZ の協賛依頼
「第 10 回 TRIZ シンポジウム 2014」の協賛を承認した。

連絡事項

1. 大内賞推薦の件
大内賞推薦書類の回覧をした。

2014 年度第 8 回理事会 (メールによる)

期間：2014 年 8 月 14 日～8 月 25 日

議題：

審議事項：

1. 「第 17 回情報論的学習理論ワークショップ」
協賛の承認
標記イベントの協賛の承認をした。

2014 年度第 9 回理事会 (対面による)

日時：9 月 14 日 (日) 12:00～13:00

場所：東京大学 経済学部 小島ホール (東京都文

京区)

出席者：樋口会長, 水田副会長, 中村, 酒折, 中西,
本橋, 大西, 井元, 佐藤, 福水, 藤澤, 鈴木,
安宅, 永田 各理事

欠席者：川崎 理事

議題：

審議事項

1. 理事の任期について (会長)
理事の任期は 2 年おきの 5 月に開催される年会で切り替わっていた。今年度から 3 月に計量生物学会と時期を合わせて開催することになったため、切り替わり時期の検討を進めた。5 月に何らかの研究会等を開催し、その後に総会と評議員会を開催し、これまでと同様の時期に理事会の交替することとした。
2. 学会誌の特集について (編集理事)
編集理事より、学会誌の論文の集まりが良くないため、今年度の発行を 1～3 号の合併号になることの説明があった。雑誌を充実するために、特集、個別に投稿依頼、特集+ゲストエディタ等が考えられ、これらの中では特定の話題に関する特集号を出すことを現在考えている、と説明があった。
3. 学会賞の選出時期について (編集理事)
これまで 5 月の年会で学会賞の表彰をしており、3 月に年会在開催されれば今までの選考過程を 2 ヶ月早めなければならない、タイミングが難しいとの説明があった。議論ののち従来通りのスケジュールで学会賞の選出をすることとした。また今年度に限り学会誌の機関購読料を減額することが説明され、これは今年度限りの措置とすることが確認された。今後は雑誌の価格に関することは理事会で諮ることも確認された。
4. ネット理事会 (メール理事会) の開催に関する規程の整備 (庶務理事)
担当理事より、メーリングリストによる理事会をネット理事会としてこれまで開催してきたが、この機会にネット理事会に関するきまりを

整備する旨の提案があり、承認された。

5. 応用統計学会のフロンティアについて（企画理事）

担当理事より、本学会が取り上げられていない分野、とくにマーケティングやファイナンスなどで、セミナーの開催や学会誌での特集を組む旨の説明があった。

6. J-STAGE 掲載のためのデータ作成と掲載作業経費について（会計理事）

本学会誌の J-STAGE での掲載を、電子的に新たな形式である書誌 XML に対応させるため、41-42 巻の作業を行うことが承認された。今後、他の巻の対応は他学会の動向を見定めて検討することとなった。

報告事項：

1. 2014-15 年の理事の紹介

参加した理事の自己紹介が行われた。

2. 理事懇談会（5/22）における議事の紹介

5月22日に開催された新しい理事メンバーにより開催された懇談会の様子を資料に基づいて議長から報告された。内容は以下の通りである。

1. 樋口会長の挨拶と各理事の紹介
2. 統計関連学会連合大会について
3. 学会賞について
4. 相互連携に関する合意書について
5. 理事の任期について

「4. 相互連携に関する合意書について」は、本学会と一般社団法人データサイエンティスト協会との合意に関する覚え書きで、これが締結されると本学会は特別会員として同協会とのいくつかの活動や情報交流を行うこととなる。この合意書の中の「相互の委員会活動などに参加できるようにする」という項目は、各団体への会員の所属形態の違いなどにより、困難である旨の説明があった。他学会の動向を参考にするため継続審議とした。

3. 大内賞選考結果について

本学会から今年度大内賞に推薦者が選ばれなかったことが報告された。

2014 年度第 10 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 10 月 8 日～10 月 14 日

議題：

審議事項：

1. 「一般社団法人データサイエンティスト協会 1st シンポジウム ～実務者が集うデータサイエンスの最前線～」への後援
標記イベントの後援の承認をした。

2014 年度第 11 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 10 月 30 日～11 月 4 日

議題：

審議事項：

1. 退会の承認
3名の退会の承認をした。

2014 年度第 12 回理事会（メールによる）

期間：2014 年 11 月 28 日～12 月 5 日

議題：

審議事項：

1. 退会の承認
2名の退会の承認をした。

2014 年度第 13 回理事会（メールによる）

期間：2015 年 1 月 6 日～1 月 13 日

議題：

審議事項：

1. データサイエンティスト協会の相互連携合意書
データサイエンティスト協会との「相互連携に関する合意書」に関して、一部文言を変更し、協定書を締結することを承認した。
2. 公開シンポジウムの開催
2015 年 5 月下旬の土曜日に「公開シンポジウム」を、「ビッグデータ、データサイエンティスト育成」をテーマとして開催することを承認し

た。

3. 各種会議の開催（理事会、評議員会、総会、学会賞選考会議）

2015年5月の公開シンポジウムと同日に、理事会、評議員会、総会、学会賞選考会議を開催することを承認した。

2014年度第14回理事会（メールによる）

期間：2015年1月7日～1月13日

議題：

審議事項：

1. 日本品質管理学会「第4回科学技術教育フォーラム」の共催依頼
標記イベントの共催の承認をした。

2014年度第15回理事会（メールによる）

期間：2015年2月3日～2月6日

議題：

審議事項：

1. 退会の承認
2名の退会の承認をした。

2014年度第16回理事会（メールによる）

期間：2015年2月27日～3月6日

議題：

審議事項：

1. 日本機械学会「第1回ビッグデータの機械工学へのインパクトを探る」講習会の共催依頼
標記イベントの共催の承認をした。

2014年度第17回理事会（対面による）

日時：2015年3月14日（土）11:40～12:40

会場：京都大学 医学部・大学院医学研究科 集会室（京都市）

出席者：樋口会長、水田副会長、中村、酒折、中西、本橋、井元、佐藤、福水、藤澤、鈴木、安宅、永田 各理事

欠席者：川崎、大西 各理事

議題：

審議事項：

1. 理事会ネット審議に関する申し合わせ（会長、庶務理事）

理事会のネットによる審議は、理事会における「申し合わせ事項」として扱い、その内容は議事録に記録することとした。詳細は以下の通り：

理事会ネット審議に関する申し合わせ事項

1. 理事会の効率的および機動的な決議を目的として、理事メールリングリストを利用して理事会メール審議を行うことができる。
2. 理事会メール審議による案件は下記の事項に限定する。

(1) 学会主催・共催・協賛・後援に関する事項

(2) 入退会に関する事項

(3) 緊急に議決しなくてはならない事項

(4) その他、会長が特に必要と認めた事項

3. 理事会メール審議の回答期限は、判断に必要な十分な時間を設けて明示することとする。

4. 回答期限までにメール審議に対する回答がない場合は、原案承認とみなす。

2. 応用統計学のフロンティアセミナー等の実施案（企画理事）

「応用統計学フロンティアセミナー」のスケジュール（5月23日開催）、講演者、「応用統計学」特集号について、説明が行われた。フロンティアセミナー開催の主たる理由は、(1)本学会の特色を出し、学会活動の活性化のため、(2)今後3月に年会を開催するため、4月以降の早い時期に評議員会と総会を開催する必要があること、である。

3. 会員資格に関する今後のあり方（庶務理事）
会費未納者の現状、未納者へ送付する書簡、他学会におけるシニア会員について説明された。
また、大学院生の修了（卒業）後の動向が事務

局で把握しづらいことが報告され、引き続き5月の理事会で議論することが確認された。

報告事項：

1. データサイエンティスト協会との協定の進捗状況（会長）
標記協会との協定が4月の当該理事会で承認される方向であることが報告された。
2. 大会の開催年度の扱い（庶務理事）
2016年3月の年会開催は、2015年度であるが「2016年年会」という呼称で開催されることが確認された。
3. 応用統計学への論文投稿について（編集理事）
2015年度発行予定のVol.44は、1号と2号の合併号となること、第3号に特集記事を掲載予定であることが報告された。投稿数が増加するために、学会誌の積極的な宣伝、投稿しやすい環境の整備（大学院生への勧誘、査読結果の早期返却、ページチャージ、投稿のメリット、魅力的な雑誌にするための提案等）について議論された。
4. 議事録確認
時間の都合により確認ができなかった。